



## 公示 2016/01

### 背景

スピネーカーを展開した時に、ラフのローチ部分が折れて、ラフが計測値よりも短くなり、ミッドガースも短くなってセールがフラットになるものをセールメーカーが開発した模様。このスピネーカーは、計測ポイントはスピネーカーですが、展開してラフが折れると、小さくフラットになるので、より高い角度での使用が可能で、その状態でのディメンションはヘッドセールとなると考えられます。

IRCでは、スピネーカーのリーフを許していますが、上記のような使い方は想定されていませんので、その対策として本公示を発表します。

以下は直ちに発効となります。

ヘッドポイントとタックポイントにテンションが加わった時に、その間に別のリーディングエッジがセールに形成されるようなスピネーカーは、IRC規則 21.2.2 の目的からすると、ダブルラフを持つものと考えられ、リグファクターの調整が行なわれる。そのようなセールは、使用前の写真と共に申告されなければならない、更に追加の計測が必要な場合もある。

2016年12月8日

(翻訳：角 2016/12/9)